

呉市長期総合計画の策定にかかる 第2回市民ワークショップ 摘録

1 日時 令和2年6月24日（水）18時30分～20時45分

2 場所 呉市役所本庁舎

3 概要・骨子

18:31

前回の振り返り

18:43

【意見交換】

- | | |
|---------------|------------|
| (1) 子育て分野 | (6) 産業分野 |
| (2) 教育分野 | (7) 都市基盤分野 |
| (3) 福祉保健分野 | (8) 環境分野 |
| (4) 市民生活・防災分野 | (9) 行政経営分野 |
| (5) 文化・スポーツ分野 | |

委員からの主な意見は次のとおり

○ (1) 子育て分野について (課題)

- ・子どもの居場所づくりが充実していないと若い世代が離れていく原因になり、少子高齢化につながる。
- ・子どもの居場所づくりに関する課題が大切
- ・読書ができたり、卓球などスポーツができる児童館などが増えると良い。
- ・放課後や休みの日に子どもが外で遊べる場所が必要
- ・民間の保育所や託児所の増所
- ・公園の中でも小学生と幼児・園児は別に遊べる場所をつくる対策が必要
- ・子連れで行ける店が少ない。
- ・共働き世帯が多いので、子育てをしやすくするために病児・病後児保育施設の増設が必要
- ・子育て世代包括支援センター「えがお」で受けた相談件数が1,756件と実績が多いので、施設のスタッフを増やすことが必要
- ・子育て支援の取組をもっとPRすべき。
- ・自治会が運営している子ども会などへの人手を支援することが必要
- ・市民意識調査では、結婚、出産、子育て、すべてでお金の問題が上位になっているので、金銭面での支援の充実が必要
- ・子育て中に感じるストレスの具体的内容を探るべき。
- ・自然に面したランニングルートがない。
- ・児童がかなり遅い時間まで遊んでいるので、学校と連携して注意すべき。
- ・呉市で結婚して子育てする人を増やすために、結婚支援の事業の広報を積極的にする。

(評価できるところ)

- ・通院・入院の医療費が助成されることは非常に大切
- ・子育て世代包括支援センター「えがお」、ファミリーサポートセンターで行われている 24 時間サポートは、実際に子育てをしている父母、周囲に祖父母など頼れる人がいない方たちにとって非常に役立つ。
- ・子育て世代包括支援センター「えがお」で、産前産後の時期のサポートが行われていること
- ・子育て支援手続きをWeb（ウェブ）で行える。
- ・出産ができる施設が整っている。
- ・救急医療体制が充実している。

○（２）教育分野について

(課題)

- ・先端技術を活用した教育の推進に向けて、i P a dや電子黒板の活用が必要
- ・子育て世代が居住地を選ぶとき、地域に小学校があることがポイントの一つになるため、小学校の存在が若い世代の定住に大きく影響する。
- ・山間部の学校の生徒を増やすような取組が必要
- ・学校の統合が進んでいるが、きめ細かい指導が受けられるので、少人数の小学校があってもよいのではないか。
- ・小学校から中学校へ進学した時のギャップを緩和するため、小中学校間の相互乗り入れ授業をより積極的に行う。
- ・郷土を愛する心を育む教育を推進するため、小中学校で地域課題を考える総合学習を行ってはどうか。
- ・工業系大学など高等教育の場を増やす。
- ・A Iなど最先端技術を学ぶことも大切だが、ふるさとの歴史を学ぶことも重要
- ・地域の人と交流ができる授業があれば良い。
- ・呉市民意識調査の項目「子どもたちの豊かな心の育成のため必要な取組」に関連して、県外・国外などの学校と交流する機会を作ってみてはどうか。
- ・すべての学校に空調設備を整えるべき。

(評価できるところ)

- ・呉高等学校の校舎等の耐震化、空調設備の設置、I C T機器の整備
- ・空調設備の設置

○（３）福祉保健分野について

(課題)

- ・健康づくり活動の回数が年々減っている。
- ・特定健康診査の受診率が3割と低い。
- ・特定健診・がん検診の受診促進や健康講演会等をもっと実施していくべき。
- ・定期的に健診を受けることができない主婦などへのPRが不足している。
- ・安浦の地域包括支援センターのような福祉に関する地域住民の相談を受ける場所が増えてほしい。
- ・心療内科医の先生が一人でカウンセラーや薬の処方をおこなうのは難しいので、

カウンセラーに対する国の支援が必要

- ・おたっしやクラブなど高齢者が人と触れ合える機会を充実させる。
- ・減塩に関するポスターがいつの間になくなってしまったので、PRを続けてほしい。
- ・食育を推進していくため、専門家の力を借りたり、食の祭典や呉みなと祭を活用して広くPRすることが大切

(評価できるところ)

- ・島しょ部の医療体制を整えるため、公立下蒲刈病院の医療機器を整備していること
- ・医療機関が充実している。
- ・福祉人材確保のため奨学金、補助制度が設けられている。
- ・特定健診・がん検診が受けられる。
- ・診療報酬請求明細書のデータ分析できめ細やかな支援ができています。

○ (4) 市民生活・防災分野について

(課題)

- ・まちづくり活動への学生や外国人の参加を促す。
- ・まちづくり活動への学生や外国人の参加について、呉市内だけではなく、他市町の学生にも参加を促す。
- ・地方ならではの魅力的な資産があるので、都会にアピールして移住者の確保につなげる。
- ・アプリやメールなどによる気象情報・避難情報の配信を充実させる。
- ・西日本豪雨災害を教訓に、ハザードマップ等を通して危険箇所を認識する必要がある。
- ・災害に関して電話で情報を聞く手段があることをもっとPRしてもらいたい。
- ・ごみ収集カレンダーと一緒に避難場所の紹介があれば分かりやすい。
- ・消防団員を増やす活動が非常に重要
- ・小中学校で総合的な学習の時間を設けてまちづくり活動への意識を向上させる。
- ・小中学生に対してまちづくりサポーターの存在を知る機会を作り、将来に向けてまちづくりに対する意識の向上を図る。
- ・夜回りなどの地域活動を活性化させる。

(評価できるところ)

- ・まちづくりサポーター数が増加している。
- ・平成30年7月豪雨災害をきっかけに、住民の防災意識が高まっている。
- ・防災・防犯情報メール登録者数が3万6,000人を超えている。
- ・自主防災組織の活動カバー率が増加している。
- ・高齢者はスマホを持っていない人も多いので、防災行政無線での放送などで情報提供することは大切

○（５）文化・スポーツ分野について

（課題）

- ・ iPad等を活用した動画配信など、若い世代が興味を持てるように文化財の情報を発信する。
- ・ 野呂山芸術村のホームページが更新されていない。
- ・ 呉市の歴史に触れる、芸術文化に触れる機会のアピールが不足している。
- ・ 日本遺産に認定されている旧軍港4市がSNSで連携して魅力発信できれば話題性がある。
- ・ 日本遺産や記憶遺産など、呉市外へのPRが不足している。
- ・ 呉氏を活用したプロモーションビデオで日本遺産の魅力を発信する。
- ・ 市民は安い料金でスポーツ施設を利用できるなど工夫が必要
- ・ スポーツクラブの活動を活発にするため、大きなグラウンドを整備する。
- ・ 山や海に恵まれていることを活かして、ボルダリングやカヌーなどスポーツの種類を増やす。

（評価できるところ）

- ・ 呉市総合スポーツセンターや呉市営プールは、市民の健康増進に役立つ。
- ・ 呉信用金庫ホールで全国的に有名な劇団が上演するなど、質の高い文化芸術に触れる機会が充実している。

○（６）産業分野について

（課題）

- ・ 大企業の撤退などもあり、ものづくりのまちという産業構造を見直す必要がある。
- ・ 中通りに飲食店だけではなく、企業を入れると活気が出るのではないか。
- ・ 市民の平均所得を上げる取組が必要
- ・ 起業支援だけでなく、情報発信など起業後の支援も必要
- ・ 首都圏のバイヤーを招いての商談にあわせてオンライン販売などを支援する。
- ・ 阿賀マリノポリス地区への企業誘致
- ・ 工業系の高校生が日本製鉄の撤退で他市への就職を考えるようになってはいけないので、企業誘致が必要
- ・ リノベーションスクール講演会や企業ガイダンスなど、学生への情報発信が不足している。
- ・ 第一次産業を盛り上げるために、呉の特産をアピールしたり地産地消を推進する。
- ・ みかんやレモンなど特産品の活用
- ・ 農水産業へのAIやIoT等の先端技術の活用の促進

（評価できるところ）

- ・ 雇用契約のない福祉的就労の平均工賃が上昇している。
- ・ オール呉産の日本酒醸造の支援は非常に有効な取組

○（７）都市基盤分野について

（課題）

- ・危険箇所の情報が欲しい。
- ・道路・橋りょう等の公共インフラの適切な維持補修にICT技術を利用すれば低コスト、より高い確率で道路や橋の検査ができる。
- ・土砂災害の対策が必要
- ・砂防・急傾斜地の整備が進んでいるが、整備情報を発信すれば危険箇所の認知にもつながる。
- ・雨で呉線が止まった際の対策が必要
- ・広方面に向かう休山トンネルの出口付近から渋滞するので、信号のタイミングを見直すべき。
- ・自転車専用道路の整備は重要
- ・廃屋の整理を進めてほしい。
- ・島しょ部では不便を良しとする人たちを誘致できるような、数種類のまちづくりを考える必要がある。

（評価できるところ）

- ・東広島・呉自動車道の開通は東広島市との往来の活発化につながっている。
- ・東広島・呉自動車道と警固屋音戸バイパスのおかげで、運転しやすい環境になっている。
- ・改装後の呉駅のイメージ写真が掲示されて期待が高まる。
- ・東広島・呉自動車道と休山新道の4車線化で交通基盤は便利になっている。
- ・平成30年7月豪雨災害では、広い面積、いろいろな箇所での被害を受けたのに復興が進んでいる。

○（８）環境分野について

（課題）

- ・取組のPRが不足している。
- ・ごみの分別を厳しくし、排出量を減らす。
- ・ごみの分別意識が低い人がいる。
- ・ごみの分別意識は地域によって差がある。
- ・太陽光発電システムの設置支援の額が少ない。
- ・食品ロス削減をもっと進めるべき。
- ・フードバンクへの寄付を働きかける。
- ・小学校で食品ロスについて考える。
- ・水質汚染や海洋汚染についての取組が何も書かれていない。

（評価できるところ）

- ・太陽光発電システムやエネファーム設置支援は良い。

○ (9) 行政経営分野について

(課題)

- ・職員数が少なくても市民への対応は良くしてほしい。
- ・職員の年齢構成の偏りが気になる。
- ・減少した職員数で対応できるシステムづくりが必要
- ・ネーミングライツを拡大し、新たな財源にする。
- ・ネーミングライツに反対意見はないのか気になる。
- ・公共施設の安全性として線路への侵入防止が必要

(評価できるところ)

- ・職員数がかなり減っているのに頑張っている。

○ (1) ~ (9) の基本政策分野のうち、力を入れるべき分野について

(委員 11 人が、一人 3 分野までの投票方式での結果)

分野	票	分野	票	分野	票
(1) 子育て分野	8	(4) 市民生活・防災分野	2	(7) 都市基盤分野	6
(2) 教育分野	3	(5) 文化・スポーツ分野	1	(8) 環境分野	1
(3) 福祉・保健分野	1	(6) 産業分野	10	(9) 行政経営分野	0

【市長閉会挨拶】

貴重な時間を割いて、前回に続いてご出席いただきありがとうございました。心からの意見をいただきありがとうございます。非常に参考になることが多く、大変ありがたく思っております。

3回目もどうぞよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

以上

20:45

会議終了